

## 令和6年度 第1回教育講演会

6月3日（月）、校内研修の一環として教育講演会を行いました。

昨年度に引き続き、筑波大学非常勤講師・上野学園大学短期大学部非常勤講師 下山直人先生を講師としてお招きし、「知的障害のある児童生徒の生きて働く力を育てる授業づくり」と題してご講演いただくとともに、授業の様子についてご指導、ご助言をいただきました。



〈講演される下山先生〉



〈質疑応答の様子〉

### 今回の講演会での学びをキーワードで表すと

- 学びの方向性を定める、身に付けたい力を明確に
- 生活を豊かにするための教科の力
- 各教科の力を教科等横断的に身に付けていくということ
- 「活動あって学びなし」とならないように
- 言葉は体験と結びつくことで生きて働くようになる
- 自立活動は全ての活動の基盤である
- 自立活動の指導すべき課題の明確化

### 本校職員の感想

- ・日々の授業の効果をなかなか感じられずにいた。生きて働く力へつながらないのは「活動あって学びなし。」「定着していない。」「活用できない。」「活用できるが使おうとしない。」という理由があることが分かり、もう一度実態や授業の見直しを行いたいと思った。
- ・児童生徒一人一人に必要な資質・能力とは何か、また、学びを支える自立活動で必要となる学習は何かを整理し、授業づくりをしていきたい。
- ・「授業では教師が言葉を精選して使う。」という点を意識していきたい。